

令和2年7月30日

お客様各位

日本化薬株式会社
アグロ事業部

「クロピクフロー[®]」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、ご愛顧いただいております、土壌くん蒸剤「クロピクフロー[®]」（登録番号第21220号）が令和2年7月22日付で登録内容変更（適用病害虫の範囲及び使用方法）となりましたので、お知らせいたします。

変更後も引き続き、「クロピクフロー[®]」をご愛顧いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

敬具

記

登録番号 第21220号	農薬名（商品名） クロピクフロー	農薬の種類名 クロルピクリンくん蒸剤
-----------------	---------------------	-----------------------

クロピクフローは日本化薬(株)の登録商標

■変更内容

以下のとおり「適用病害虫の範囲及び使用方法」の登録内容が変更になりました。

作物名「かんしょ(苗床)」に適用病害虫名「つる割病」を追加する。

変更後の内容につきましては、別紙をご参照ください。

■本剤に関するお問い合わせ先

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
日本化薬(株) アグロ事業部 営業部 営業企画担当
電話：03-6731-5321 FAX：050-3730-7867

別紙

農林水産省登録 第21220号 クロピクフロー

適用病害虫の範囲及び使用方法

1) 病害虫防除の使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クロピクフローを含む農薬の総使用回数
かんしょ(苗床)	つる割病	20~30 ℓ/10a	1回	耕起整地後、灌水チューブを設置し、その上からホリチン等で被覆する。その後、液肥混合器等を使用し、本剤を処理用の水に混入させ処理する。	1回
かぶ	萎黄病 ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
トマト ミニトマト	萎凋病 ネオブセンチュウ	20~30 ℓ/10a			
いちご	萎黄病	20 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ				
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
なす	半枯病 青枯病	20~30 ℓ/10a			
	青枯病 萎凋病				
ピーマン とうがらし類	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
ほうれんそう ごぼう	萎凋病	20~30 ℓ/10a			
いんげんまめ	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
	つる割病	20~30 ℓ/10a			
きゅうり すいか	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
	ホモジス根腐病				
うり類 (漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)	つる割病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
にがうり	つる割病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
さやいんげん	萎凋病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
さやえんどう 実えんどう	根腐病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
しょうが 薬しょうが みょうが(花穂) みょうが(茎葉)	根茎腐敗病	20~30 ℓ/10a			
	萎黄病				
	立枯病				
こまつな アスパラガス	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
にら	乾腐病	20~30 ℓ/10a			
ねぎ	萎凋病 根腐萎凋病				
	ネオブセンチュウ		30 ℓ/10a		
バセリ	立枯病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
セルリー	萎黄病	20~30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ				
きく	ネオブセンチュウ	30 ℓ/10a			
	ネオブセンチュウ				
	萎凋病				

1) 病害虫防除の使用法 (続き)

作物名	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クルビクリンを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物 (きくを除く)	萎黄病(フザリウム菌) 萎凋病(フザリウム菌) 株枯病(フザリウム菌) 乾腐病(フザリウム菌) 球根腐敗病(フザリウム菌) 立枯病(フザリウム菌) 葉枯病(フザリウム菌) 腐敗病(フザリウム菌) ネオブセンチュウ	30 g/10a	1回	耕起整地後、 灌水チューブを設置し、 その上から ボリエチレン等で被覆する。 その後、 液肥混合器等を使用し、 本剤を処理用の水に 混入させ処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

2) 前作の古株枯死及びコナジラミ類蔓延防止の使用法

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クルビクリンを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト いちご ピーマン とうがらし類 きゅうり うり類 (漬物用、ただし、 漬物用メロン を除く) すいか さやいんげん ねぎ セルリー 花き類・観葉植物	前作のトマト、ミニトマト、 いちご、なす、 ピーマン、 とうがらし類、 ほうれんそう、 ごぼう、 いんげんまめ、 きゅうり、すいか、 うり類 (漬物用、ただし、 漬物用メロンを除く)、 にがうり、 さやいんげん、 さやえんどう、 実えんどう、 しょうが、 葉しょうが、 みょうが(花穂)、 みょうが(茎葉)、 こまつな、アスパラガス、 にら、ねぎ、セルリー または 花き類・観葉植物の 古株枯死 コナジラミ類蔓延防止	20 g/10a	前作のトマト、ミニトマト、 いちご、なす、 ピーマン、 とうがらし類、 ほうれんそう、 ごぼう、 いんげんまめ、 きゅうり、すいか、 うり類 (漬物用、ただし、 漬物用メロンを除く)、 にがうり、 さやいんげん、 さやえんどう、 実えんどう、 しょうが、 葉しょうが、 みょうが(花穂)、 みょうが(茎葉)、 こまつな、アスパラガス、 にら、ねぎ、セルリー または 花き類・観葉植物の 収穫終了後 古株撤去前まで	1回	灌水チューブを 設置し、 その上から ボリエチレン等で 被覆する。 その後、 液肥混合器等を 使用し、 本剤を 処理用の水に 混入させ 処理する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
なす ほうれんそう ごぼう いんげんまめ にがうり さやえんどう 実えんどう しょうが 葉しょうが みょうが(花穂) みょうが(茎葉) こまつな アスパラガス にら						2回以内 (床土1回以内)

以上